

目的 :

「若手」「業界未経験者」を対象。転職歴として初めて(あるいは2回目程度)で転職慣れしていない。キャリア計画・希望は明確! ?しかし転職で失敗は絶対にいやだ

... こうした転職希望者を対象とします...

セッション

- 1 転職を決める。活動に戦略を: 時期、勤務地、業種・職種
転職理由を明確に、応募理由は? さあ活動開始
- 2 提出する書類の整備: 履歴書と職務経歴書 内容と書き込み方
履歴書 要注意事項、職務経歴書 自己PRなど
- 3 面接に進む: 提出する書類と面接の関連、質問内容、応答の仕方
- 4 面接での注意点、1次面接と2次面接の差
- 5 内定～契約までのプロセス&入社までのIssue

完

内容 :すでに4回のセミナーで

1. 転職の理由・応募の動機をまとめ、書類にしっかり書き込む
2. 書類を提出して面接待ち:提出書類と面接の関連、質問内容、応答の仕方
3. 面接の実際面:提出した履歴書・職務経歴書に沿って面接が進行する
4. 面接での注意点 一次面接 二次面接
まで進行してきました。

最終セッションです。内定～契約までのプロセス&入社までのIssue。

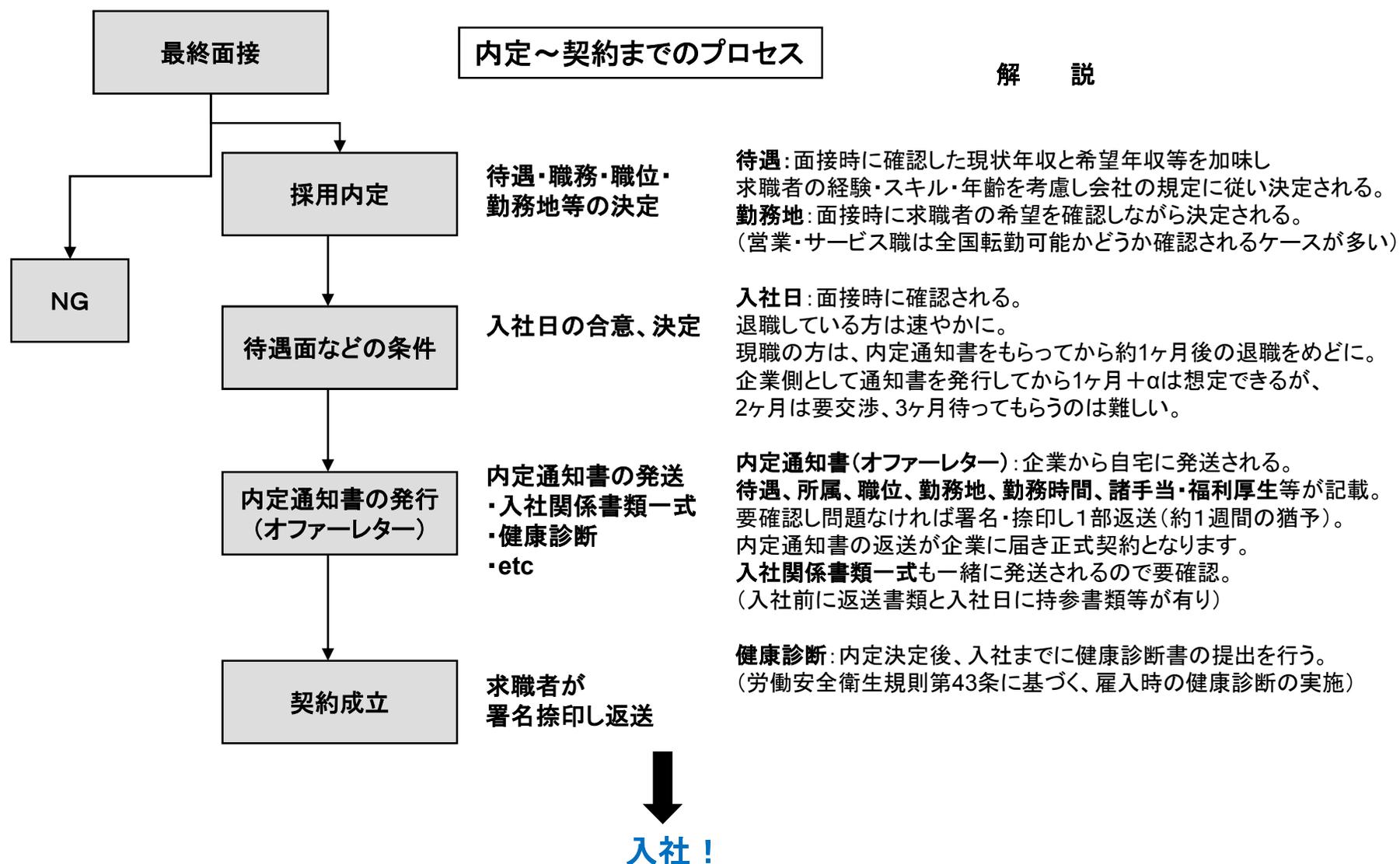
目次

5-1目次(このページ)

5-2内定～契約までのプロセス

5-3入社に至るまでのIssue

・複数企業に応募、待遇・入社日の要望、内定辞退は？



入社までの
Issue

複数に応募しているとき

多くの方が**複数企業に応募**します。内定獲得した企業が本命であれば、他企業の面接など進行は辞退すべき。優劣決められない場合には進める。面接ではその状況を説明し、かつこの企業から内定をとる前向きの姿勢で臨む。

優先順位の低い企業から先に
決定ができた時

複数企業に応募する場合は関心の強い／高い順に応募手続きをとります—これは当然ですね。優先順位(Priority)をたて、順にそった応募を勧めます。しかし面接していく中で**優先順位が変わる**場合があります。後から応募した企業を最優先したい、先に応募した企業から内定をもらったが迷っている—という状況はよく起きます。ケースごとに対応が異なりますが「自身の気持ちに誠実であれ」が答えです。

勤務地

勤務地:面接時にほぼ決定します。指定された初任地に諸事情で赴任できないと辞退のケースがあります。事情の多くが配偶者(となる方含め)の反対です。転職活動を進める時点で家族と事前に良く相談(待遇・勤務地等)されることが重要です。

仕事内容

仕事内容:面接時に説明があります。
自分のキャリアプランに良い影響(プラス)を与える仕事ならば積極的に受け入れるべき。良い・悪いはどのように判断するか?「経験が途切れず仕事の幅が広がる」が良いです。

待遇

待遇:求職者の経験・スキル・年齢を考慮し会社の規定に従い決定。
諸手当、社会保障等の確認。年収交渉はケースバイケースです(交渉材料が必要)。

入社日

入社日:企業側からは決定後、速やかに入社してほしい要望。
求職者としては内定後、現在の勤務状況や会社規定(退職届後1-2ヶ月)により入社となります。(入社日交渉は可能ですので相談下さい)

内定辞退できるか?

内定辞退:可能です。辞退に至った納得いく理由を伝える、社会人の礼儀として。

通知書に応諾したあと
辞退できるか?

署名したあとの辞退:署名・捺印で契約が成立したことになり、入社就業の義務を負います。特別の理由がない限り、契約遂行を求められます。もし履行しない場合賠償請求を受けする事もある(企業側もそこまでしませんが・・・)。

困ったこと、ご要望がありましたら弊社コンサルタントにご相談下さい!

主催・文責:メディカルキャリア